



NO.83

2019年3月5日

三好ベースボールアカデミー

三好泰宏

TEL・FAX 011-897-3535

携帯 090-59892587

E-mail: [my.baseball.1977@jcom.zaq.ne.jp](mailto:my.baseball.1977@jcom.zaq.ne.jp)

69号から私のベースボールの集大成として理想論を書いてきましたが、本号が最後となります。

本号は私が甲子園を目指したときの戦術です。誠に単純なものですが、幸いにして5回夢の甲子園に生徒を連れて行くことが出来ました。

私が教師を目指した目的が達成されたことで満足はしていますが、後悔もあります。

その後悔はこれからの残されたベースボール人生で解決していきたいと思っています。

&lt;特集&gt;

哲学のあるベースボールを求めて

## にゅー・ベースボール論

～戦術&amp;サイン～

私の甲子園出場の戦術です。日本のベースボールはアメリカから入ってきたものですが、その戦術もアメリカ人(大リーガー)が考案したものです。

- ① 犠牲バント(送りバント)
- ② ヒットエンドラン
- ③ スクイズ
- ④ スチール(盗塁)

この戦術は、大リーグの名将と言われた、ジョー・マグロー等によって考案されたものですが、大リーグでは多用されませんが、日本では高校野球をはじめ、プロまでこの戦術を巧みに使っています。

この戦術を試合ではサインで選手に伝えて戦うわけですが、私はサインを数字で伝達しました。

(フラッシュ&amp;ブロック)

- 3 送りバント
  - 4 盗塁
  - 5 ヒットエンドラン
  - 6 スクイズ
  - 7 ランエンドヒット
  - 8 ダブルスチール
- 手首 1  
肘 2  
肘 3  
耳 4  
帽子 5

これを、足し算、引き算、掛け算、割り算で出すことにしましたが、掛け算と割り算は却下されました。

足し算を採用する日は、手首と肘を触ると、3になり、送りバントです。引き算は、耳と手首になります。

面倒くさいことは、長嶋で済ませました。

次に、一死で走者を3塁に進め外飛球で得点することを基本に、各インニング1点を取る戦術であります。

無死走者1塁では、送りバントで2塁に送った走者をワンヒットで還す。

一死一塁では、ヒットエンドランで走者を3塁に進める。二死一塁では、長打を打たせる。

このような単純なもので、各インニングで一点を取る7点打線ベースボールを目指しました。

ですから、練習の8割は打撃練習で、長打力をつける。この戦術に使う攻撃パターンの練習をしました。

一例ですが、送りバントは、ストライクを打球が転がってからスタートを切る。走者を確実に進塁させるためにです。

ヒット&ランでは、インコースはショートへ、アウトコースはセカンドへ打ち返す。成功の確率は5割ですがこれが勝負と運に期待しました。

スクイズの練習はしましたが、試合では採用しませんでした。虎の子の一点とも言いますが、失敗した選手のこと、成功しても、孫におじいちゃんのスクイズで勝ったよ。などと自慢もできないと判断して、この場面は外野犠飛球で還すことにしました。

そして、これが私のベースボール哲学であります。

○投手は四死球を出さない。

○打者は見逃しの三振をしない。

○野手はイーゼラーをしない。

監督後半は、練習は、選手も補欠もなく与えるノルマも全員同じにして、消化は本人の自覚に任せる。選手選考は、各ポジションに割り当てた数を部員同士が相談して選抜するようにしました。監督が考える選手と食い違うことはありませんでした。

## &lt;終わりに思うこと&gt;

高校野球は教育の野球であります。社会人になって、野球バカと呼ばれるような人間にしてはならない。

文武両道と言っても実践する内容に両者が取り組ま

れていて、年間計画から始まって日案の緻密な**新鮮なプログラム**でなければ有意義な楽しい活動にはならない。年々進化させていきました。

文事活動の一環であります、

○四字熟語 (常識を身につける)

○ブックデー (読書をする)

○レターデー (手紙を書く)

○弁論大会 (自分の考えを発表する)

○ホリデー (趣味を見つける)

○何でも一番 (特技の発見)

東海大四で10年、ここまでやってきて甲子園も5度出場できたわけですが、甲子園で一度も勝てない野球は評価されず終わってしまったようです。

いつか、同じような哲学を持つ監督が現れることを願ってやみません。

